

「次の政権で原発ゼロを」



小泉純一郎元首相(セウ)が二十一日、持論の脱原発を実現する道筋を描いた著書「原発ゼロ、やればできる」を写真Ⅱを出版する。安倍晋三政権では政策転換は難しいとして、古巣の自民党に「次の総理で『原発ゼロ』を」と呼び掛けている。小泉氏は著書の中で「(国内で

小泉元首相の新著 きょう発売

導入済み)自然エネルギーの割合は原発十五基分の発電量に相当する」と指摘し、「自然エネルギーで日本は『資源大国』になれる」と強調する。

大手電力会社や原子力研究者など一部の利益のために、東京電力福島第一原発事故のような世界最悪レベルの事故発生リスクを抱える原発を推進するのは「国をほんとうに愛する人間のやることではない」とも主張。「野党は原発ゼロに賛成なのだから、自民党さえ変わればよい」と訴える。太田出版・税別千五百円。(宮尾幹成)